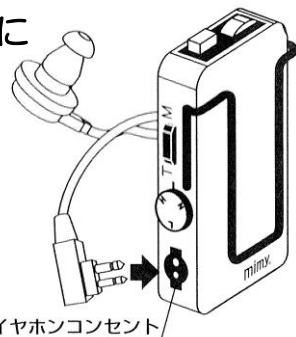


使いかた

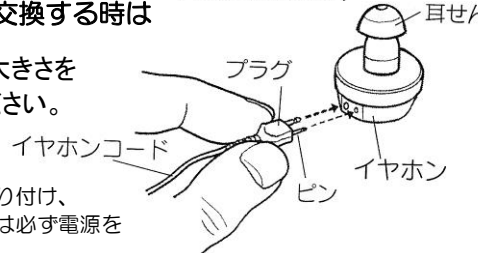
①イヤホンコードを補聴器に取り付けます。

イヤホンコードのL字型のプラグを図の様に補聴器本体のイヤホンコンセントに差し込みます。



イヤホンコードを交換する時は

ピンの太さと穴の大きさを確認して入れてください。

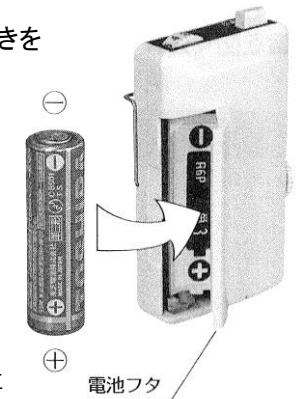


- *イヤホンコードの取り付け、取り外しを行うときは必ず電源を切ってください。
- *イヤホンコードを本体に強く巻き付けたり、引っ張ったりしないでください。

②電池を入れます。

使用する電池は単三乾電池1本です。

電池フタを開き、電池の+と-の向きを合わせて入れ、電池フタを閉めてください。



- *電池寿命はアルカリ電池使用時で約200時間です。(連続使用時間) 電池寿命は、使用する電池の種類や使用条件で変わります。
- *電池フタは電池交換の時以外はむやみに開閉しないでください。
- *3ヶ月以上補聴器を使用しない時は電池を取り出してください。
- *電池の+と-の向きを間違えないようにしてください。
- *電池はメーカーによって多少大きさが異なる為、出し入れしにくいものがあります。
- *電池フタのシールを剥がさないでください。製造番号が確認できないと修理を受けられない場合があります。

! 万一、電池が破損し、電解液が皮膚に触れた時は、すぐに水洗いしてください。

③イヤホンに付いている耳せんを耳の穴に入れます。

耳たぶを後ろの方に引っ張ると耳穴がひろがり入れやすくなります。

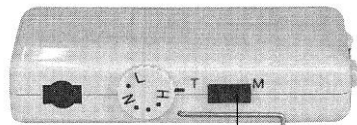


出荷時には、サイズ(中)の耳せんが付いています。大きすぎて耳穴に合わない時や、ピーピー音が起きる時は付属の耳せん(小)に取り替えてください。

- *耳せんに耳垢が詰まると音が聞こえにくくなったり、イヤホン故障の原因にもなります。
- *イヤホンは、落としたり、ぶつけたりすると性能が劣化します。お取り扱いには十分ご注意ください。

! 体質によっては、まれに痒み・かぶれを生じることがあります。皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を中止し、専門医にご相談ください。

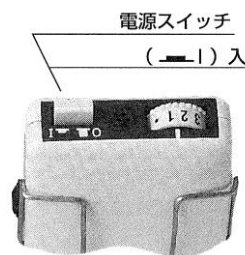
④MTスイッチをMにします。



出荷時はMになっています。スイッチをMにすると通常の使用状態です。Tにすると磁気ループ装置の受信機になります。詳しくは『M・TスイッチをTにして使うには』の項をお読みください。

⑤電源を入れます。

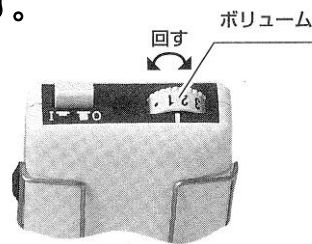
電源スイッチを押すと電源が入り、(I)もう一度押して離すと電源が切れます。(O)



*使用しない時は電池消費をはやめないように電源スイッチを必ず切ってください。

⑥ボリュームを調整します。

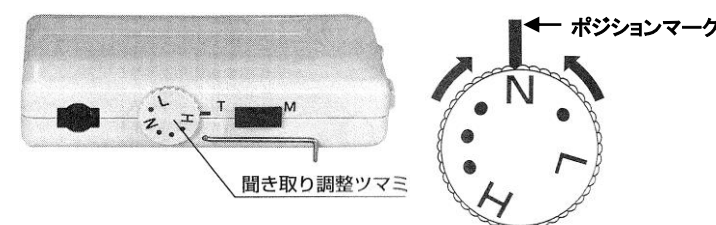
数字が大きくなると音も大きくなります。ちょうど良い大きさに合わせてください。



! 長時間連続してお使いになると耳の疲労の為に言葉が聞きにくくなる場合があります。その時はご使用を中止してください。

⑦聞き取り調整ツマミを合わせます。

テレビの音や会話を聞きながら聞き取り調整ツマミをゆっくり回して言葉がはっきり聞こえる位置に合わせてください。



- ・(N)をポジションマークに合わせると低音と高音のバランスがほぼ同じになります。
- ・(H)をポジションマークに近づけていくと高音が強くなります。言葉がこもる場合などは時計回りにゆっくり回して聞き取りやすいところで止めてください。
- ・(L)をポジションマークに近づけていくと低音が強くなります。音がキンキン響く場合などは反時計回りにゆっくり回して聞き取りやすいところで止めてください。

*聞き取り調整ツマミは(N)を中心にポジションマークに(H)が合うところから(L)が合うところまで回すことができます。それ以上無理に回さないでください。

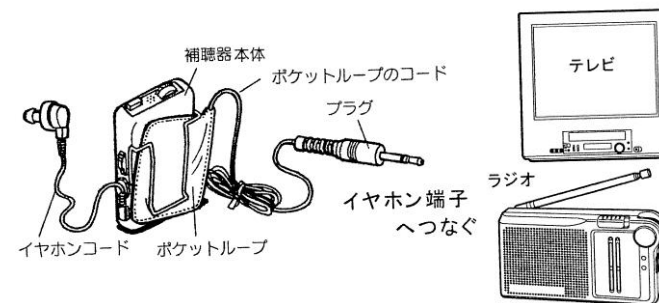
*聞きやすい位置は、周りの騒音などによっても変わります。そのつど聞きやすい位置に合わせてください。

M・TスイッチをTにして使うには

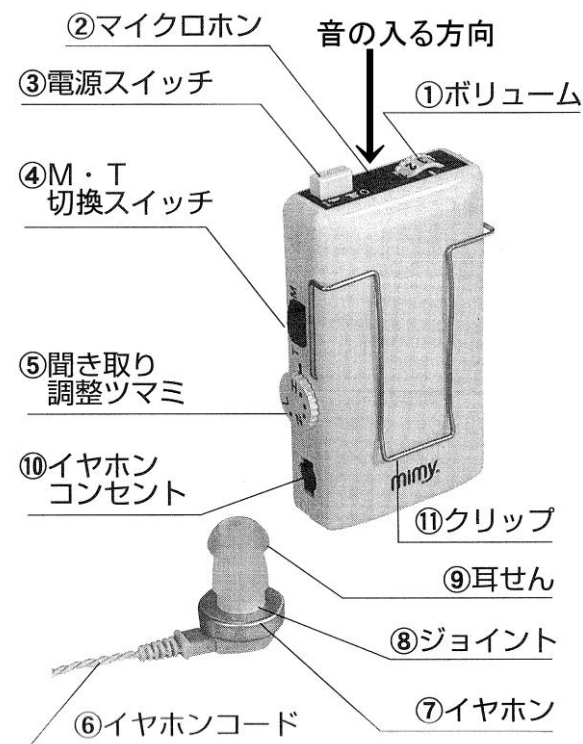
磁気ループ装置が設置されている講演会場や教室等で、M・Tスイッチを(T)にすると磁気ループ装置に繋がっているマイクで話す講演者の声が聞こえます。



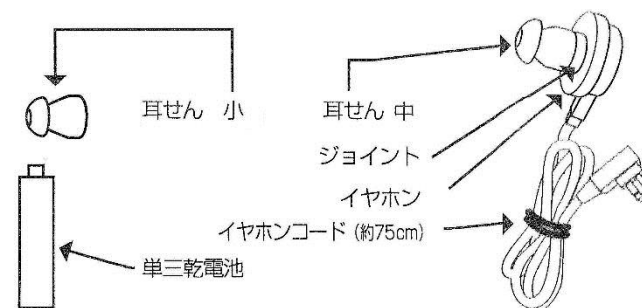
M・Tスイッチを(T)にしてテレビ、ラジオ等についているヘッドホン端子に別売のポケットループ(L-01)のプラグを差し込み、補聴器のクリップにポケットループを挟むとテレビ、ラジオ等の音声が聞こえます。



各部の名称



付属品



補聴器の上手な使いかた

1. はじめて補聴器を使う時には、テレビやラジオのニュース番組を普通の音量にし、アナウンサーの声がちょうど良く聞こえるよう補聴器のボリュームを調整し、言葉を聞く練習をしてください。



2. 人と話す時は、向かい合って普通の声の大きさとゆっくりと話してもらうようにしてください。相手の方に補聴器本体の上部(マイクロホンが内蔵されている部分)を向けると聞きやすくなります。

3. 机の上に補聴器本体を置いて使用する時は布を敷いてください。



4. 電話をかける時は、受話器に補聴器本体の上部にあるマイクロホンを近づけて会話をしてください。

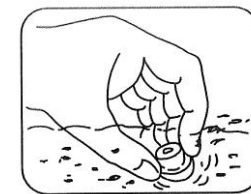
5. 外に出る時は上部のマイクロホンが隠れないように服のポケットに入れ、クリップで動かないように挟んでください。

服にポケットがない場合は首から下げることができる首かけ補聴袋(別売)もあります。

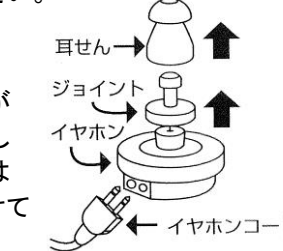


お手入れ

・イヤホンから耳せんを取り外し、耳せんだけをぬるま湯の石鹸水で洗ってください。お手入れをしても、耳垢やゴミが取れなかったり、変色したり、固くなった時は新しいものと交換してください。



・イヤホンはアルコールを浸した布でよく拭いてください。ジョイントに耳垢が詰まったらジョイントも取り外して洗ってください。耳せん、ジョイントは完全に乾いてからイヤホンに取り付けてください。



・補聴器本体はアルコールを浸した布で良く拭いてください。アルコール以外の薬品は使わないでください。

・雑音を防ぐためにイヤホンからイヤホンコードを外し、反対側も補聴器のイヤホンコンセントから外し、コードの先端の銀色の2本のピンをアルコールを浸した布で良く拭いてください。

